

平成22年第3回定例会 議会報告

(平成22年 9月 2日～10月 1日)

秦野市議会議員

かみくら
神倉ひろあき



● 9月2日から始まった、第3回定例会は、提案説明を皮切りに議案審議、一般質問、決算特別委員会常任委員会、議会運営委員会、議会活性化特別委員会、と続き最終日は、委員長報告をもって10月1日に終了。以下、議案審議、一般質問及び決算特別委員会における質問を中心に、ご報告をいたします。

★議案第36号:工事請負契約の締結について(本町中学校 校舎建築工事)

・あっているのか！ ……疑惑ある入札の条件変更！！ ・今後、注視！！ ……

質問: ①本町中学校舎建設は2社JVの一般競争入札で公告、JV申請期間中(7/7～7/21)の7/9、突然入札中止、参加条件を一部変更した。談合や設計ミスが無いのに、なぜか？

②入札開始後、入札条件を変更する事は、契約行為の混乱と疑惑を招く。条件変更により、一定の指針はあるのか？

回答: ①最初の入札参加条件で登録業種の順位に建築を第一としたが、県に無いので、この順位を問わない事とした。
②一定の指針は無い。

問題点: ①校舎建設で建築を第一順位とする事は当然。契約は、法や諸規定に触れない限り自由であるという原則を順守していない。②入札事務運営委員会や専門委員会を通して入札条件を決めたのに、クレームが入り変更した疑惑。

③入札、契約に係る一貫性や一定の指針がない。④入札事務運営委員会や専門委員会が、その役割を果たしていない。

★一般質問: 1. 所在不明高齢者の安否確認を徹底し、孤独死を避け！

2. 地域貢献企業の認定化により秦野市の活性化を図れ！

1. 所在高齢者の安否確認について

質問: 死亡を隠ぺいしての遺族年金不正受給を端に、全国の所在不明高齢者の数と事件は、拡大し続け、大きな社会問題になっている。所在不明高齢者問題は、ますます進む高齢化社会にあつて、無縁化する社会や人間関係から生ずる孤独死問題と軌を一にしている。社会共同体の中で生きている人、ひとり一人が家族や地域との絆をどう取り戻すか、行政が、それに、どう支援の手を差し伸べるのかが、所在不明高齢者問題を解く鍵となり孤独死防止につながる。そこで、①100才未満高齢者の実態調査は？ ②所在不明高齢者の不正年金受給は？ ③所在不明高齢者防止対策は？

回答: ①8月、90才代の高齢者1,188人について、介護保険・医療保険の利用履歴から、ある期間利用の無い45名を訪問調査した。②45名のうち、91才の方が、1名、所在不明である。年金番号があるが、年金の受給は不明である。生存確認の為、年金機構に照会し受給の有無を確認したい。③在宅ひとり暮らし高齢者の登録者を増やす方を兼ねて、高齢者等把握調査を民生委員、高齢者支援センターの協力を得て実施する。(厚労省調べ)

問題点 ①: 高齢者等の把握調査や見守りは民生委員、高齢者支援センターの協力だけでは物理的に無理が生ずる。新たなアクションを作り、福祉の専門家の参加等によるシステム化の必要性。②80才代高齢者調査に向けての検討。

2. 地域貢献企業の認定について

質問: 地域貢献企業の認定は、市内の企業が、CSR活動を通して、環境、雇用などの事業展開を、どのくらい、どのように取り組んで地域に貢献しているかを、市が認定することで、企業の成長を支援し、あわせて市の経済発展を促すことをねらっている。市長も一期目のマニフェストで、「地域貢献型企業を認定し公共事業への優先参入、税の減免などの新制度を提案し、公共事業に頼らない街づくりを研究する」と述べている。そこで、①CSR活動に取り組んでいる市内企業の現状は？ ②環境保全に貢献している事業と企業は？ ③秦野型地域貢献企業認定制度の導入を考えてはどうか？

・ **CSR 活動**：企業が、社会的責任を意識し、地域に貢献する活動。(corporate・social・responsibility)

回答：①雇用、取引、環境配慮、グランド等の開放、地域活動への参加支援等、様々な形で地域貢献している。
②環境学習支援事業では3社が、小学校で出前講座をもった。植林活動、下草刈り、里山保全再生活動等で数社が取り組んでいる。③地域貢献が多岐に亘っているので関係部署と連携、商工団体の意見を聴きながら調査・研究したい。

問題点：①市長の掲げた「地域貢献型企業の認定について」4年を経ても、**調査・研究等の進捗状況が不明である。**

★決算特別委員会で、質問した主な内容です。

(平成21年度に執行された事業を点検し質す委員会)

総務費

- ①**入札・契約制度の改革**について：最低制限価格の算出式の見直しによる入札落札率。工事成績、地域貢献度を評価しての一般競争入札。
- ②**行政評価推進経費**：行政評価による改善状況。
- ③**普通財産管理費**：未利用地の数と面積、今後の利用について。
- ④**庁舎維持管理費**：光熱費の削減。LED電球の利用度。
- ⑤**自転車等放置防止対策事業費**：毎年、2000台を超える放置自転車等の対策。
- ⑥**電算システム業務費**：行政クラウドが実施された場合の対策。
- ⑦**消費生活行政事業費**：消費生活相談の内訳。消費者庁への連絡と市民への情報提供。
- ⑧**防犯灯設置費補助金**：年間約6000万円の修繕料・電気料金削減のためLED防犯灯の普及。今後の方向性。



環境文化講座

民生費

- ①**シルバー人材センター運営費補助金**：行政評価で、改善見直しの上、実施すると言うがその方向性は。
- ②**小児医療費助成事業費**：子育て支援や子供を産みやすい環境づくりのため、更なる対象年齢の拡大を要望。
- ③**一時保育事業補助金**：保育ママ事業の現状。待機児童対策に公共施設の空きスペースの活用。
- ④**生活保護費**：実態調査と就労対策。

衛生費

- ①**歯科休日急患診療所運営費**：行政評価で改善見直しが出ているが、歯科医師会との検討結果と本市の考え方。
- ②**地球温暖化対策事業補助金**：秦野市地球温暖化対策地域推進計画におけるCO2削減目標の達成について今後の取り組み。

商工費

- ①**秦野市商店街省エネルギー促進事業費補助金**：省エネタイプの電球への交換の現状。電気料金の削減。CO2削減目標との関連と全庁的取り組み。
- ②**企業誘致について**：誘致活動の経過。誘致活動の在り方。誘致決定後の空地対応状況。

土木費

- ①**歩道設置事業費**：歩行者が自動車に接触しそうなところが、何か所もある歩道整備の悪い市道の整備状況(旧アイワルト通り：市道816号線)。平成21年度に整備した事業内容。今後の取り組み。

教育費

- ①**小学校理科教育振興費、中学校理科教育振興費**：小・中理科設備の整備率。整備率100%の時期。
- ②**秦野市スポーツ振興財団補助金、スポーツ施設等維持費**：経費削減の理由。スポーツ振興財団の在り方、今後の方向性。

●一般質問の詳細は、「**秦野市議会HPにて、録画配信しています。**」是非ご覧ください。

●〒259-1322 秦野市渋沢 2-5-13 TEL & FAX 0463-88-3655 携帯:090-3533-8034

Eメール kamikura5@yahoo.co.jp 神倉ひろあき 平成22年第3回定例会 議会報告

●市民の皆様の ご意見ご要望をお知らせください!! 急行いたします。

